

〈算数科〉 3年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・長さの単位換算や2学年で学習した図形の名称など、学習を終えて間が空くと忘れてしまっていて、定着しない事項がある。
- ・時間の求め方が身に付いていない児童がいる。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・四則計算をすることが好きだが、計算の概念を理解していなかったり、計算間違えをしたりする児童が多い。
- ・自分の考えを図や文で表すことに苦手意識をもっている児童が多い。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・少人数のクラス編成の方が、作業や理解の速さがそろい、発言や質問により積極的になる傾向がみられる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・10000までの数・小数・分数のしくみや2位数×2位数、あまりのある除法、重さや長い長さの単位、三角形の定義や弁別など、基礎的事項の定着。
- ・定規やコンパスの使い方を身に付けて正確に図形をかくこと。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・自分の考えを式や図で表し説明することができること。
- ・様々な考えの中から、よりよい考えを価値づけすること。
- ・題意をつかみ、「分かっていること」「求めること」を整理したり、図に表したりすること。
- ・計算を工夫したり、検算をしたりして正確に計算することができること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・前回の学習との違いを明確に、既習事項を生かして問題解決を行う。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・授業やスキルアップ学習の時間において反復練習をする時間を保障し、計算ドリルを活用して家庭学習を習慣づける。
- ・スキルアップ学習。家庭学習のドリル・単元ごとのテスト・テスト直し学期末のまとめテストなど、基本的な事項については繰り返し確認し、定着を図る。
- ・単元ごとに、土曜補習・水曜補習を行い、基礎的な学力の定着を図る。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・児童が多様な考えをもち、対話的な活動によってよりよい考えを求めていくような授業展開の工夫。
- ・ICTを活用し、友達ノートを書画カメラで投影したり、子どもたちのさまざまな考えの一覧を映し出したりする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・児童が主体的に取り組めるような単元計画の工夫。
- ・ICTを活用し、視覚に訴えるような活動を取り入れる。
- ・既習事項の教室掲示。